

■ 参加対象者

製造業の経営幹部・工場長・経営後継者・各部門長など

※参加者のご都合がつかない場合は、代理出席可です。

■ 研修会場(お申込みいただいた方には別途詳細な地図をお送りします)

定例会 ▶ 大阪府工業協会 研修室

大阪市中央区南本町 2-6-12 サンマリオンタワー4 階

※御堂筋線「本町」駅より徒歩4分／中央線「堺筋本町」駅より徒歩3分

特別合宿 ▶ 大阪ガス 奥池ロッジ

兵庫県芦屋市奥池南町 47-16 ≪大阪ガス㈱の宿泊・研修施設≫

※JR「芦屋」駅・阪急「芦屋川」駅からバス／最寄の停留所から徒歩 10 分

■ 講師紹介

2026 年度で第 57 期を迎える本研究会。現在まで府内をはじめ、関西一円の大手企業から中堅・中小企業の経営幹部・工場長の方が多数参加され、工場経営の合理化・効率化のために研鑽を積み、製造業の各現場でお役立ていただいています。

■ お申し込みのご案内

<年間参加費> 264,000円(消費税込) 全18回、1名につき  
2回の合宿に伴う宿泊費(夕食 1 回、朝食 1 回付)を含みます。  
[振込先]・三井住友銀行 備後町支店 当座 No.201068 ・りそな銀行 大阪営業部 当座 No.1027054  
・三菱UFJ銀行 信濃橋支店 当座 No.321966

<申 込 方 法> FAX 06・6245・9926

下欄の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXで当協会宛てにお送りください。ホームページからもお申し込みいただけます。折り返し、関係書類を電子ファイルでお送りします。

※恐縮ですが振込手数料はご負担ください。また、4 月 16 日(木)以降の取り消しの場合には参加費を全額ご負担いただきますので、ご了承願います。

<b>古里 和敬 氏</b> FULLSET Consulting 代表／もと トヨタ自動車九州 トヨタ自動車九州で、生産現場や生産技術、品質管理部門で手腕を振るう。2021 年 1 月より現職。泥臭く地に足のついた講演は好評を博す。	<b>椎野 由裕 氏</b> 椎野経営技術事務所 代表 メーカーでロボット化・FA 化推進、海外工場の生産改善、シンクタンクのコンサルタント業務に従事。独立後は、労働安全衛生コンサルタントとして活躍。
<b>松下 武司 氏</b> 中小企業診断士 ／ 経営コンサルタント 大学卒業後、住宅機器メーカーに入社し営業部門に従事、全国各地で責任者を歴任。現在は独立し、事業計画の立案等を行う経営コンサルタントとして活躍。	<b>時任 久雄 氏</b> もと キューピー㈱ 伊丹工場長 1972 年にキューピー㈱に入社。長年にわたり、主要工場で製造部門の要職を務める。2011 年にはキューピー㈱執行役員に就任し、工場長として手腕を振るう。
<b>石橋 研一 氏</b> 税理士法人 GROWLEAD 代表／税理士・中小企業診断士 大阪大学経済学部を卒業後、住友銀行に入学。1998 年、公認会計士事務所に入所し、さまざまな財務コンサルティングに従事。2006 年に独立し現職。	<b>上田 正裕 氏</b> 社会保険労務士 上田事務所 代表 大学卒業後、タキイ種苗に入社。その後、社会保険労務士事務所勤務を経て、1994 年に独立開業。人事・労務面のサポートにも積極的に取り組んでいる。
<b>梅田 浩二 氏</b> ケイズ・アンド・カンパニー 株式会社 代表取締役 豊田自動織機、東海理化で管理会計業務に従事。現在、経営コンサルタントとしてとして事業戦略立案、管理会計・価格見積りシステム導入等の支援を行う。	<b>野口 大 氏</b> 野口&パートナーズ法律事務所 代表／弁護士 京都大学法学部を卒業。企業法務・人事労務に強い弁護士として、労働裁判や団体交渉等を専ら会社側・経営側の立場で数多く手がけている。
<b>足立 直樹 氏</b> あこう管理会計コンサルティング LLP 代表 トヨタグループで事業部門・コーポレート部門の部門長を歴任、2018 年名古屋大学大学院博士後期課程産業経営システム専攻修了(博士号取得)。	<b>佐野 宗章 氏</b> 佐野MFGコンサルティング 代表 日産車体に入社後、主に設計部門に携わった後、生産技術部門で現場管理を指導し、湘南工場の工場長として日産グローバルトップ工場に成長させた。
<b>巖真 基 氏</b> 購買コンサルタント／もと 日産自動車 株式会社 日産自動車で新車の開発購買・現行車部品の原低活動、LCC 調達等で手腕を振るう。各部門の要職を歴任後、部品メーカーの購買統括業務で実績を上げる。	<b>河野 稔 氏</b> 日産コンサル シニアコンサルタント 日産自動車に入社後、工務課で機械加工設備や塗装工程保全を担当。その後、追浜工場・北米日産の設備稼働率向上活動のマネージャーとして成果を上げた。
<b>鈴木 邦成 氏</b> 物流エコノミスト・日本大学 教授 早稲田大学大学院国際情報通信科修了。その後、日本大学准教授を経て、2014 年度より現職。また、各産業団体の要職としても活躍している。執筆書籍多数。	<b>川端 正詳 氏</b> 川端技術士労働安全事務所 所長 工業炉メーカー就職後、空調メーカーに転職、化学プラントの建設・設備管理、工場の環境対策を行う。2020 年より現職、企業の労働安全・環境対策等を行う。
<b>塩谷 博司 氏</b> 未来工場研究所 代表 1983 年に日産自動車に入社。NPW 推進部、SCM 企画部長として活躍。その後、関係会社の工場長として、IoT・スマート工場化を推進、手腕を振るう。	<b>松田 務 氏</b> 株式会社 八咲 執行役員 プリンシパル 富士通テンの生産機能部門にて、戦略立案・社内外の工程・倉庫・物流の生産性・品質改善活動に従事。現在は製造業全般のコンサルタントとして活躍。
<b>石川 保 氏</b> IGQクリニック 代表／品質コンサルタント 1978 年、松下電器産業に入社。一貫して電子デバイスの QA 業務、信頼性技術開発などに従事。パナソニック AIS 社 QA センター所長などの要職を歴任後、独立。	<b>遠藤 栄緒 氏</b> 日産車体マニュファクチャリング 代表取締役社長 日産車体九州の取締役工場長として、これまで培ってきた経験をもとに改善活動などの陣頭指揮を行い、手腕を振るう。2025 年より現職。

参加申込書

2026年度 工場経営研究会

No.5313-5137 YM

会 社 名	／ 従業員数：			名
所 在 地	(〒 - )	電 話	( )	
		事業内容		
申込ご担当者 所属・役職・氏名		申込ご担当者 メールアドレス		

申込担当者の方に、請求書発行の通知メールを送ります。指定のURLにアクセスし電子ファイルをダウンロードしてください。

参加者①	所属・役職名	氏 名	
	E-mail アドレス	年 齢	歳

参加者②	所属・役職名	氏 名	
	E-mail アドレス	年 齢	歳

お申し込みは ▶ FAX 06-6245-9926 公益社団法人 大阪府工業協会

※申込書にご記入いただいた内容は、事務処理(請求書の発行等)・担当講師への参加者名簿提示のほか、研修案内の送付に利用させていただく場合がございます。なお、内容の訂正・利用停止をご希望の際は、当協会までご連絡ください。

https://www.opmia.jp/  
ホームページからも参加申込できます

第57期

経営幹部・工場長のための年間プログラム

工場経営研究会

重要テーマを網羅した講義、事例研究を通して  
強い工場づくりの本質を探る

定例会 ▶ 半日16回  
各回とも午後1時15分～4時45分  
[会場] 大阪府工業協会 研修室

特別合宿 ▶ 2回  
各回とも、1泊2日間  
[会場] 大阪ガス 奥池ロッジ

全18回  
参加募集の  
ご案内

研究会の目的(ねらい)

- ▶ 工場幹部の責務を再認識するとともに、変革に挑戦するマインドを育てます
- ▶ 時代潮流の変化を知り、的確な状況判断の仕方や問題解決の方法を習得します
- ▶ 事例研究を重ねることで、自社の課題を解決するための策を見出します
- ▶ 関西一円から集まる異業種リーダーとの幅広い人的ネットワークを築きます

参加のすすめ

1970 年より開催している伝統と実績ある研究会

企業が中長期的に利益を確保し続けるには、経営幹部や工場長の方々が、工場経営に必要な知識と技術、実行力を身につける必要があります。経営戦略や事業計画の立案、ムダをなくす改善、IoTの導入、製造原価を下げる努力、部下の意欲を引き出す工夫、技能伝承、ハラスメント対策、労働災害の未然防止、良品100%、機械設備の安定稼働など、取り組むべき課題は山積しています。そこで、工場経営の重点課題を確実に解決し、工場革新を真に成功させるための戦略や工場各部門における管理と改善の実践的なノウハウの数々を、具体的に解説します。ぜひ、貴社の企業体質強化、工場の合理化、工場幹部の能力開発の指針として本研究会をご活用ください。

www.opmia.jp

《主催》 公益社団法人 大阪府工業協会

〒541-0054 大阪市中央区南本町2丁目6番12号 TEL 06-6251-1138



1

工場幹部の心得

合宿

4月23日 日 13:00 ～ 24日 金 12:00

講師 古里 和敬 氏

- 日本の“ものづくり”における変化／変化に対する考え方
- 会社の存在価値～理念と信念を考える
- 日本の企業の目指す姿と課題
- 工場幹部の役割と使命、工場幹部としての人望
- 工場幹部の「現場を勝たせる」流儀
- 工場幹部の問題解決力・実行力を鍛錬トレーニング
- 工場経営を左右する工場目標の設定 *etc.*

<初日>  
13:00  
13:10～18:00  
18:00～19:00  
19:00～20:30  
20:30～21:30

現地集合  
講 義  
夕 食  
講 義  
ディスカッション

<2日目>  
7:15  
7:30～ 8:15  
8:15～10:00  
10:00～11:00  
11:00～12:00  
12:00

朝 礼  
朝 食  
講 義  
ディスカッション  
講義・まとめ  
現地解散

兵庫県六甲山のふもとに建ち、四季折々の豊かな自然と調和する施設

大阪ガス 奥池ロッジ



宿泊は 1 名 1 室です  
第 11 回の合宿研修も同じスケジュールです。

2

経営戦略と事業計画

定例

5月11日 月 13:15～16:45

講師 松下 武司 氏

- 経営戦略で会社の未来を実現する
  - ・今日における経営戦略の重要性
  - ・経営戦略の全体像と策定プロセス
- 経営戦略に基づく効果的な事業計画づくり
  - ・納得性の高い事業計画の策定ポイント
- 成果につながる事業計画の展開
  - ・計画―実践―チェックのサイクルを回す
  - ・経営マネジメントのポイント

3

決算書の読み方

定例

5月25日 月 13:15～16:45

講師 石橋 研一 氏

- 工場経営で、なぜ決算書が必要なのか
- 事業活動と決算書の関係
- 損益計算書の見方、貸借対照表の見方
- 資金管理とキャッシュフロー計算書
  - ・利益とおカネの関係性
  - ・キャッシュフロー計算書の読み方
  - ・資金管理と資金繰り改善
- 財務分析数値から工場経営の課題を考える

4

管理会計

定例

6月8日 月 13:15～16:45

講師 梅田 浩二 氏

- 工場幹部が押さえる「管理会計」の目的
  - ・経営管理の PDCA サイクルを回す
  - ・意思決定を行う
- 固定費と変動費の管理、損益分岐点の計算
  - ・変動費/固定費と限界利益
  - ・損益分岐点と安全余裕率
- 製造業の損益分岐点の特徴と損益分岐点比率の計算
  - ・工場の損益分岐点の変動
  - ・製品別限界利益と生産の関係
- 意思決定のための管理会計
  - ・内外製の決定
  - ・受注可否判断

5

原価低減

定例

6月29日 月 13:15～16:45

講師 足立 直樹 氏

- 工場幹部が原価低減をリードせよ
  - ・企業活動と原価管理:幹部が見るべき原価の地図
  - ・モノの作り方と原価
  - ・原価管理体系と原価改善
- 原価低減活動を「体系的に回す」幹部の進め方
  - ・職場で取り組む原価改善:現場を動かす運用設計
  - ・さらに原価改善を進める方策:伸び悩みを突破する打ち手
- 不良率改善・リードタイム短縮が「工場経営に効く」理由

6

調達・購買戦略

定例

7月13日 月 13:15～16:45

講師 巖眞 基 氏

- 調達・購買における工場幹部の役割と位置づけ
- 調達・購買改革と購買マン育成のポイント
- SCMを軸とした生産戦略と購買戦略の効果の最大化
  - ・開発段階での生産設計への関与
  - ・内外コスト比較
- スマイルカーブとコストセンター
- 協力工場とうまく連携した外注戦略
  - ・より高い付加価値を内製で稼ぐ体制
  - ・外転化の判断基準

7

工場内外の物流戦略

定例

7月27日 月 13:15～16:45

講師 鈴木 邦成 氏

- 工場内物流の最適化と課題発見
- 工場外物流の改善と最適化
  - ・出荷/納入業務の見直し
  - ・生産/出荷スケジュールの平準化
  - ・パートナー連携と改善サイクルの定着
- 現場発の物流DXと改善サイクルの定着
  - ・物流現場主導で進めるスモール DX
  - ・データを活かした改善と標準化
- 失敗しない物流アウトソーシング戦略
  - ・アウトソーシングの課題と進め方
  - ・アウトソーシングの成功/失敗事例いろいろ

8

工場IoT戦略

定例

8月24日 月 13:15～16:45

講師 塩谷 博司 氏

- なぜ今、製造業にIoT が必要なのか
- 工場 IoT の全体像、できること
  - ・工場 IoT の基本構造
  - ・代表的な活用テーマ
  - ・コスト感と導入の現実
- 成功・失敗事例から学ぶ導入のポイント
  - ・成功/失敗事例
  - ・成功企業に共通するポイント
  - ・導入を阻む人と組織の壁
- 自社での IoT 導入の進め方
  - ・課題棚卸とテーマ設定
  - ・導入ステップとロードマップ
  - ・IoT 導入ミニ企画書作成

9

品質管理・品質保証

定例

9月7日 月 13:15～16:45

講師 石川 保 氏

- 品質トラブル発生時対応の成功例と失敗例
- 工場幹部が実践する品質管理・品質保証とは
  - ・目指す方向性
  - ・「品質第一」をどのように打ち出し、リードする？
  - ・品質経営の成功例/失敗例
- 品質改革／改善の進め方
  - ・QC責任者10訓の実現
  - ・工場幹部が行うべき行動とは？
- 主要ステップでの品質経営キーポイント
  - ・新製品開発段階
  - ・製造段階
  - ・顧客/市場対応段階
  - ・グローバル品質経営

10

安全衛生

定例

10月5日 月 13:15～16:45

講師 椎野 由裕 氏

- 労働災害は事業者・管理監督者・労働者…誰の責任か？
  - ・労災の法的措置
  - ・労働契約法
  - ・工場幹部に要求される安全配慮義務
- 工場幹部、安全衛生委員会の役割と実践的アプローチ
  - ・事業者の責任と事業所の責任
  - ・安全衛生管理者の職務との能力意欲
  - ・労働災害原因の構図
  - ・顕在リスクと潜在リスク
- 職場の安全意識を活性化させる、効果的な労働災害防止
  - ・人は忘れ、慣れ、横着する。設備は故障、老朽化する
  - ・危険予知訓練の徹底

11

人材育成

合宿

10月22日 日 13:00 ～ 23日 金 12:00

講師 時任 久雄 氏

- 全員を巻き込んで成果をあげる工場経営
  - ・工場の数字をあげる(目標を達成する)ことは難しくない
  - ・必ず1年で効果が出る仕掛け
  - ・全体朝礼で伝えるべきこと
- 工場幹部のあるべき姿とマネジメントの実践
  - ・会社の目的と職場の目標は理解しているか、納得しているか
  - ・トップの目標を落とし込むな！共有化せよ
  - ・求められる3つのマネジメント
  - ・部下は見ている・・・部下にプレッシャーをかけつつ安心させる指導法
  - ・部下にキチンと仕事をさせるマネジメントの勘所
  - ・工場幹部が陥る、若手の主体性を阻む罠
- 部下の気持ちのつかみ方
  - ・人間関係、仕事の内容、労働時間・・・仕事上、最もストレスを感じるものは？
  - ・部下に失敗させるな！失敗させないための準備をしよう
  - ・メンバーにそれぞれの役割を認識してもらう仕組みづくり

- 部下のモチベーションを高めるために幹部がすべきこと

グループワーク&ディスカッション

5～6名のグループ分けを行い、討議テーマに沿って徹底的に議論して課題解決策を導き出します。  
※ 第11回のスケジュールは、「第1回」合宿研修と同じです。

12

労務管理とメンタルヘルス対策

定例

11月5日 日 13:15～16:45

講師 上田 正裕 氏

- 管理者として押えておきたい労務管理のポイント
  - ・トラブルから考える労務管理の重要性
  - ・現場に潜む労務管理上のリスク
- 労働基準法、労働安全衛生法違反に伴うリスク
  - ・労基署からの是正、改善事項と送検事例
  - ・労災認定と安全配慮義務違反
- 非正規社員(パート、再雇用、派遣社員)に纏わるリスク
  - ・同一労働同一賃金/待遇差と説明義務
  - ・もめる再雇用/もめない再雇用
- 職場におけるメンタルヘルス不調のリスク管理
  - ・メンタルヘルスの予防/早期発見ポイント
  - ・不調になった場合の対処法

13

コンプライアンス経営

定例

11月18日 日 13:15～16:45

講師 野口 大 氏

- コンプライアンス経営の意義
  - ・不祥事防止から会社の持続的発展へ
- 工場不祥事の具体例と「起きる構造」
  - ・検査不正
  - ・品質不正
  - ・労働安全衛生法違反
- ハラスメント
  - ・事故やミスを減らすことと社内風土
  - ・パワハラとならない指導方法
- 労働時間問題:違法残業を生まない「設計」と「運用」
  - ・違法残業が起きる構造(工場での典型原因)
  - ・労働時間を短くする方法

14

技能伝承と多能工化

定例

12月7日 月 13:15～16:45

講師 佐野 宗章 氏

- 技能伝承・多能工化はなぜ必要か
- 自社で取り組む技能伝承・多能工化レベルアップ戦略
  - ・設備投資と人材投資の差
  - ・はじめは短期決戦、実績で勝負
- 失敗しない多能工育成の進め方
  - ・作業標準書、ツールの整備
  - ・多能工マップの活用
  - ・自ら競って多能工化を望む環境づくり
- 多能工化と経営の結びつき
  - ・ドラッカーと多能工化
  - ・人材育成と多能工化
  - ・これからの経営と多能工化

15

設備保全

定例

1月18日 月 13:15～16:45

講師 河野 稔 氏

- なぜ設備故障は起きるのか？幹部が見るべき、構造と前兆
- 設備管理の7大ロスと稼働率を落とす要因
- 設備稼働率の指標とコンディション管理の重要性
- 予知保全の考え方:導入ありきにしない、幹部の判断軸
- 設備管理活動でロスを削減する:改善×マネジメントの打ち手
- 今後の保全マネジメントに向けた、工場幹部のアクションプラン

16

工場の環境経営

定例

2月8日 月 13:15～16:45

講師 川端 正詳 氏

- 企業の安全環境課題・社会的責任
- 環境問題解決の手段
  - ・事故を起こしたらどうなる？
  - ・工場の取り組み
  - ・個人の取り組み
- 主な環境法規制
  - ・環境関連法規の概要
  - ・労働安全衛生法・消防法・高圧ガス保安法等
- 工場幹部が実践する環境マネジメント

17

製販一体の工場経営

定例

2月22日 月 13:15～16:45

講師 松田 務 氏

- 混迷の時代に、幹部として考える製販一体の工場経営
- 営業・技術・製造の力を結集する
  - ・営業/技術/製造部門それぞれの強み
  - ・各部門の強みを連携した業務領域設定
- 製品ライフサイクルで作る「製販一体プロセス」(一気通貫の仕組み化)
  - ・各部門が連携した新製品立上～量産～終息プロセス
  - ・全社視点の QCD 最適化
- 組織を変革し、製販一体を“回る仕組み”にする
  - ・情報と目的が共有できる組織運用へ
  - ・顧客価値の最大化＝工場の競争力

18

イノベーションを生み出す工場経営

定例

3月8日 月 13:15～16:45

講師 遠藤 栄緒 氏

- 社長職からのメッセージ:工場経営とイノベーションの密接関係
- 変化の時代に工場幹部がすべきこと
- 全員参加型の経営改善が起こすイノベーション
- 講師が体験した、数々の失敗事例から考える
- 成功事例発表「私はこうやって生産革新を実現した！」
- 競合他社を圧倒する強靱な「ものづくり企業」となるために